

草木捨て場の利用ルールを守ってください !!

最近の5丁目南側と7丁目ふれあい菜園奥の「草木捨て場」の状況です。写真のような現状が改善されなければ、捨て場を管理する西ビルからは、今後閉鎖や利用制限を考えたいと、相談を受けています。

<5丁目の捨て場>



<7丁目の捨て場>



入口付近の「奥に捨ててください！」の看板の下



捨て場全体の状況



捨てられたビニール、コンクリートブロック、割れた鉢、金属の支柱、建材、家具

この場所は、家庭園芸や庭の手入れで出てくる、草木、園芸用の土の捨て場として利用できると約束しています。使用に当たっては以下の物は捨てられません。

- 1、運搬に使ったビニール袋、プラスチック容器など ⇒ 可燃ごみで出す
 - 2、金属製の支柱、割れた鉢、ガラス類 ⇒ 不燃ごみで出す
 - 3、コンクリートブロック、レンガ、瓦⇒ サンポートに出せます(環境課に相談してください)
 - 4、木製のエクステリア(柵、家具)、建材(柱材、床材、壁材) ⇒ サンポートに出す
- 今後利用状況が改善されなければ、何等かの対策が取られますので、利用にあたってはルールを守ってください。また頻りに利用される方で、捨て場の清掃などの活動を計画します。

(区会役員会)

☆一斉清掃へのご参加のお礼と報告

5月26日(日)は小雨の中、一斉清掃にご参加いただきありがとうございました。参加者は、147世帯、211名でした。ダンプトラックなど5台分の除草が完了しました。7月には一斉ノーポイ運動を実施しますので、ご参加をお願いします。

(福元)

☆SMS連絡網のテスト送信を行います

昨年、皆様にお願ひしてきました携帯電話、スマホなどの番号の登録は、263世帯(318名)となりました。定住世帯の90%へのSMS連絡が可能になりました。

今後、この連絡網を利用して、区会行事の中止などの他、自主防災会からの連絡や街内に発生する緊急時の案内を行う予定です。

つきましては、近日中に連絡網を使った一斉送信のテストを実施し、登録者に確実に連絡が届く事を確認します。事前に書面で案内しますので、ご協力をお願いします。

なお、固定電話の方は、従来の連絡網で区会地区役員からの連絡を継続します。(区会、コミ協)

あいのりタクシーをご利用ください

利用のお願いと活用企画の案内

今年度朝倉市は、「あいのりタクシー」の利用について、運行する地域に出向き、利用者の要望を聞き、地域の取組状況などの話し合いを実施します。公共交通は、私たちの生活には欠かせません。将来も公共交通が継続して運行されるように、地域で利用の活性化を考えていきましょう。

★あいのりタクシー美奈宜の杜線の利用状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
年間利用者数(人)	3,779	3,708	3,955	4,527	3,790
年間運行率(%)	44.3	44.4	46.1	49.6	43.8

※運行率とは、計画された時刻表に対してバスが走った実績です。上表の場合、50%以上の便が運行されてない状況です。

★「あいのりタクシー」を使った“お出かけ”プランの提案

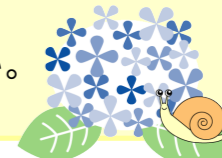
周辺の都市(福岡市、久留米市など)に出かける際に、各都市や西鉄などの企画切符を利用してお得に楽しめるプラン例を考えました。利用方法やご案内は、コミ協事務所に置いてあります。

- 久留米市内 あいのりタクシー + 西鉄電車 + ①久留米くるくるチケット
 - 福岡市内 あいのりタクシー + 西鉄バス(甘木線) + ②FUKUOKA体験バスチケット
 - 柳川市内 あいのりタクシー + 西鉄電車 + ③柳川特盛きっぷ
- ※①は西鉄甘木駅、②は西鉄久留米バスセンター、③は西鉄久留米駅で購入できます。

(生活環境部会、交通安全委員会)

☆資源(不燃)ごみの夜間回収について アンケートを踏まえて

平日の資源ごみが出せない世帯を対象としたアンケートの結果、今年度も夜間(又は前日)回収の実施を検討しています。実施日や時間は、事前にご連絡します。また今年度は、9月、11月の回収日は日曜です。ぜひご利用ください。(区会役員会)



—編集後記— 北部九州豪雨の被災地区のその後

昨年の秋に、皆様の協力により、黒川の梨、杷木の柿を購入したり、収穫の手伝いをしました被災地は、最近訪ねてみると、やっと壊れた家屋の一部の撤去が始まった状況です。まだ多くの方は、仮設住宅やみなし仮設住宅にお住まいとの事。実際に住まれる被災者からは、今までは自宅で周辺に気兼ねなく自由に暮らしていた環境から、狭い部屋で暮らす環境の変化に慣れることが出来ず、我が家が懐かしいとの声を聞きます。不便な暮らしの中で、多くの方は、地域や自分の仕事の立て直しにも日々取り組んでおられます。また農業はこれから忙しい時でもあります。今年も多少でもお役に立つように、私達ができるお手伝いを皆様に提案します。

福元記